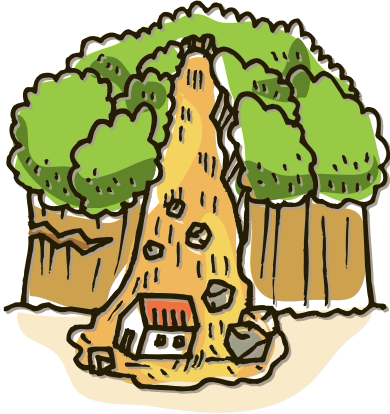


土砂災害

梅雨時期、台風時期などの雨が強く降る時や地震が起きた時などに、土石流・がけ崩れ・地すべりなどの土砂災害が各地で発生しています。土砂災害から身を守るために、どんな場所が危険であるかを知り、未然に災害に備えるようにしましょう。

土石流とは…



山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水といっしょになって津波のように襲ってくるものを「土石流」といいます。

「土石流」の先頭の部分は、大きな石や岩、流木などが集まって小山のようにもり上がっています。その速さは時速20キロメートルから70キロメートルと、自動車並みのスピードです。なかにはゾウの数倍もある大きな岩がまじったものもあり、すさまじい勢いで、あっという間に家や田畑をつぶし、押し流してしまいます。防災マップでは土砂の氾濫が予想される区域「土石流危険区域」として黄色の図形で示されています。

こんな所が危険です！

- 谷川に大きな石がゴロゴロあるところ
- 裏山に急な谷川があるところ
- 過去に谷を流れた土石流が谷の出口のところに堆積してきた扇状地のところ

こんな前ぶれに要注意！

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
(土砂により上流で流れがせき止められている)
- 川が濁ったり、流木が流れる

がけ崩れとは…



「がけ崩れ」は、斜面が突然崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの2～3倍も離れた所まで届くことがあります。

「がけ崩れ」は、地震や、大雨や長雨で地面に水がしみこんで起きますが、地すべりと違うところは、前ぶれがあまりなく、突然起きること、スピードが速いことなどです。家の近くで起こると家が壊されたり、逃げ遅れると大切な命が失われたりします。危ないと感じたら、できるだけ早く避難することが大切です。防災マップでは「急傾斜地崩壊危険箇所」として緑色の図形で示されています。

こんな所が危険です！

- がけにひび割れが発生しているところ
- がけの上部がせり出しているところ
- 急ながけで高いところ
- がけから水が湧き出したり、がけの表面を水が流れているところ

こんな前ぶれに要注意！

- がけに割れ目がみえる
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がぱらぱらと落ちてくる
- がけから木の根が切れる音がある

地すべりとは…



地面は固さや性質が違う土や石がいくつもの層になって、積み重なってできています。地下水が粘土のような、すべりやすい層にしみ込み、そこから上の地層がすべり落ちるのが「地すべり」です。

「地すべり」の動きは、ふだんは1日数ミリメートルとゆっくりですが、突然スピードが増すことがあります。広い範囲で地面がすべり、押し出された土砂や地面の移動によって、家や道路が壊されたりします。防災マップでは「地すべり危険箇所」として茶色の図形で示されています。

こんな所が危険です！

- 地面に段差や亀裂があるところ
- 樹木や電柱が傾いているところ

こんな前ぶれに要注意！

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く
- 地すべりは、雨のほか、地震によって引き起こされる場合があります